ONKYO

CP-1050

ダイレクトドライブターンテーブル

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書と
ともに大切に保管してください。

Ja

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。
電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた：間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた：

感電注意

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

分解禁止

⃠ 記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

必ずする

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜く

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く
- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解禁止

分解、改造しない
火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

禁止

通風孔をふさがない、放熱を妨げない
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （本機の天面から 2 cm 以上、背面から 5 cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない
本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

禁止

電源コードを傷つけない
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

必ずする

電源プラグは定期的に掃除する
電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。
電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

禁止

本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない
火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔から異物を入れない

指のけがに注意

ダストカバーの開閉に注意する
けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したレコードは使用しない
レコード針の寿命に影響します。

接触禁止

雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

禁止

長期間大きな音で使用しない
本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない
強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

本機の上に 10kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない
バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

注意

配線コードに気をつける
配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグに関するご注意

必ずする

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する
本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードを束ねた状態で使用しない
発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。プラグを持って抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜く

電源を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグを抜き差ししやすい場所に本機を設置してください。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意

使用上のご注意

高温注意

通風孔の温度上昇に注意
本機通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

禁止

音量を上げすぎない
- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

移動時のご注意

電源プラグをコンセントから抜く

移動時は電源プラグや接続コードをはずす
コードが傷つき火災や感電の原因になります。

禁止

本機の上にものを乗せたまま移動しない
本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。

機器内部の点検について
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

本機のお手入れについて
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

特長

音質重視の本格的マニュアルレコードプレーヤー
アナログレコード再生の音質を最優先に設計したシンプルな機能のマニュアルプレーヤーです。操作性についても、トーンアームを上下させるリフターを装備し、使いやすさを確保しています。また、カートリッジ、ヘッドシェルの交換も可能です。

信頼性の高いパーツで構成
音質を重視した MDF 製キャビネット、高剛性アルミダイキャストターンテーブル、高感度トーンアーム、MM 型カートリッジなど、信頼性の高いパーツを採用しています。

高精度で安定したダイレクトドライブ方式
クオーツロック方式で高精度な回転性能を獲得しています。また外部振動を効果的に吸収するインシュレーターを装備しています。

高級感を持った仕上げ
落ち着いた色調のキャビネットと、操作部のベースに配したアルミパーツの組み合わせにより、素材感にすぐれた仕上げとなっています。

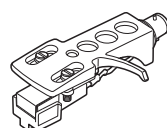
付属品

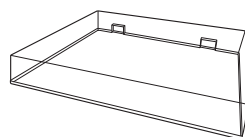
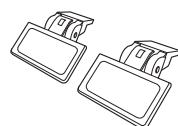
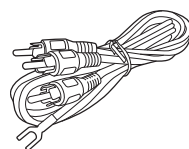
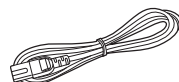
ご使用の前に製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

■ ターンテーブル × 1

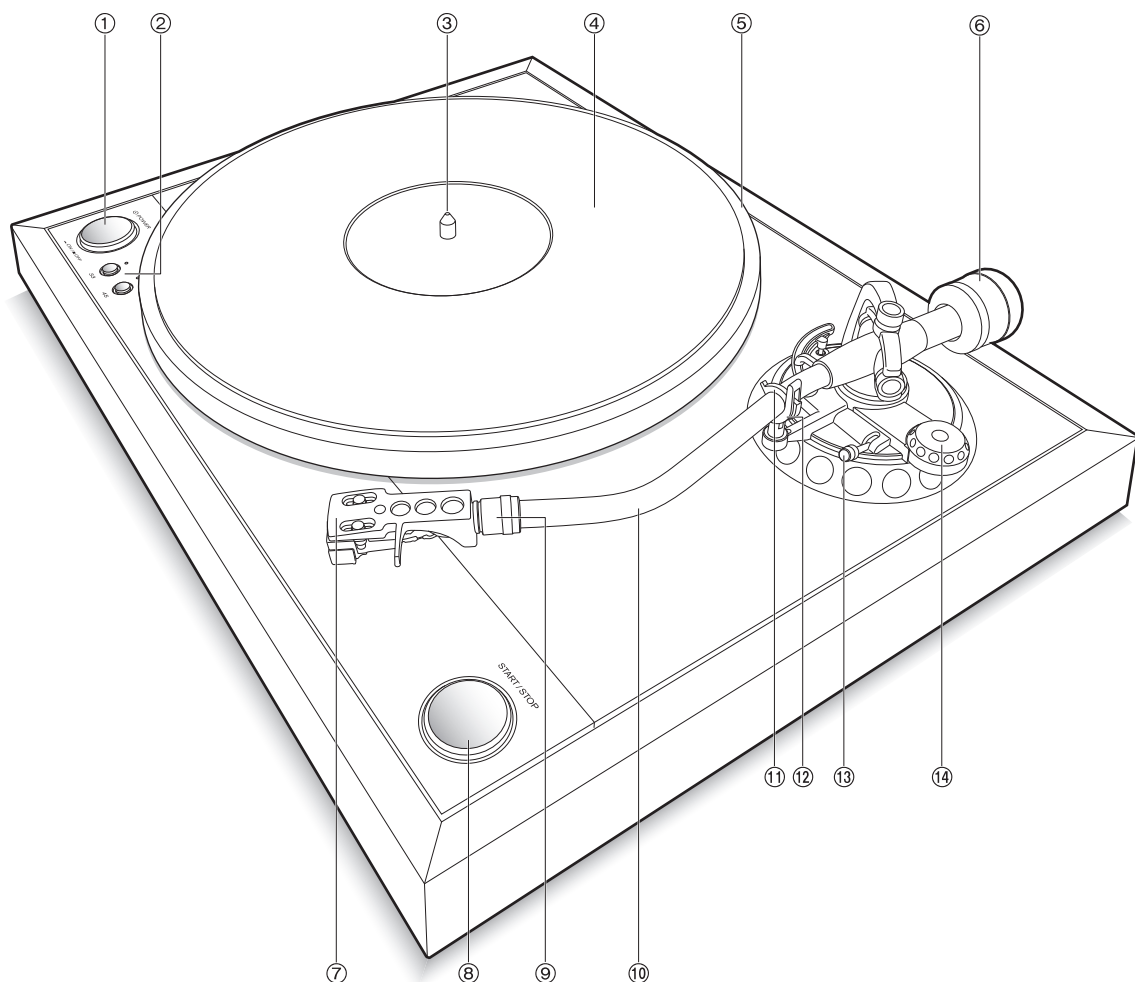
■ ラバーマット × 1

■ カウンターウェイト × 1

■ ヘッドシェル /
カートリッジ × 1

■ 45 回転レコード用アダプター
× 1

■ ダストカバー × 1

■ ダストカバー用ヒンジ × 2

■ アース付きピンケーブル
× 1

■ 電源コード × 1

■ 保証書 × 1

* カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

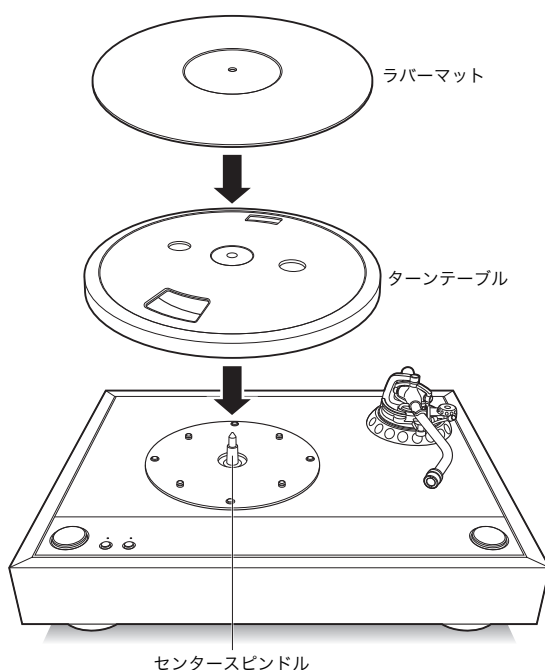
各部の名前と主な働き

① ⊙ **POWER ボタン (▁ ON/ ▄ OFF)** : 電源のオン / オフを切り換えます。
② **スピード切換ボタン (33/45)** : 演奏するレコードの回転数に合わせて切り換えます。
③ **センタースピンドル**
④ **ラバーマット**
⑤ **ターンテーブル**
⑥ **カウンターウェイト** : トーンアームの水平バランスをとったり、針圧を調整するときに使用します。
⑦ **ヘッドシェル**
⑧ **START/STOP ボタン** : ターンテーブルを回転 / 停止させます。
⑨ **ロッキングナット** : ヘッドシェルを取り付けます。
⑩ **トーンアーム**
⑪ **アームクランパー** : トーンアームをアームレストに固定します。
⑫ **アームレスト** : トーンアームをのせておく台です。
⑬ **リフターレバー** : トーンアームを上下させるときに使用します。
⑭ **アンチスケーティングつまみ** : アンチスケーティングの調整に使用します。

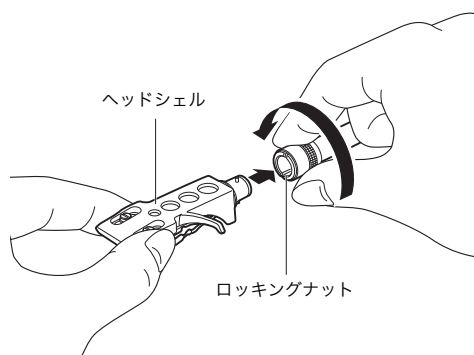
＊ お買い上げ時には、ターンテーブル、ラバーマット、カウンターウェイト、ヘッドシェルは装着されていません。次ページの「組み立て」を参照して、取り付けてください。

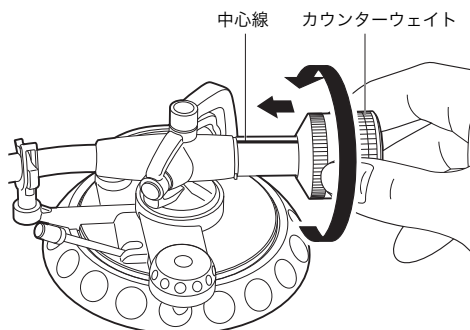
組み立て・設置

組み立て

1. ターンテーブル、ラバーマットの取り付け

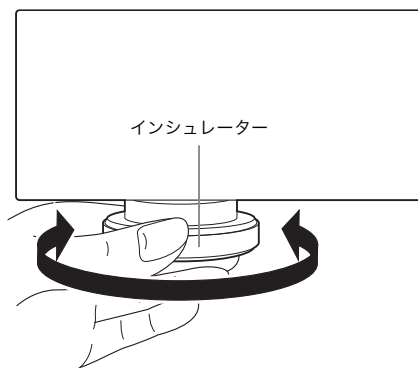
1. ターンテーブルをセンタースピンドルに差し込みます。
   - ターンテーブルは本体やトーンアームなどに当てたり落としたりしないよう十分注意して取り扱ってください。
2. ラバーマットをのせます。

2. ヘッドシェルの取り付け

ヘッドシェルをトーンアームにはめ、シェルを水平に保持しながら、ロッキングナットを締め付けます。

3. カウンターウェイトの取り付け

トーンアームの後部軸にカウンターウェイトを取り付けます。
- トーンアーム後部軸の白い中心線が見えなくなる位置までカウンターウェイトを回さないでください。

設置

外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- アンプやスピーカーシステムの上には置かないでください。
- 音圧や振動の影響を避けるため、スピーカーシステムから離して設置してください。
- 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- ラジオ（FM/AM 放送）を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本機より離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。

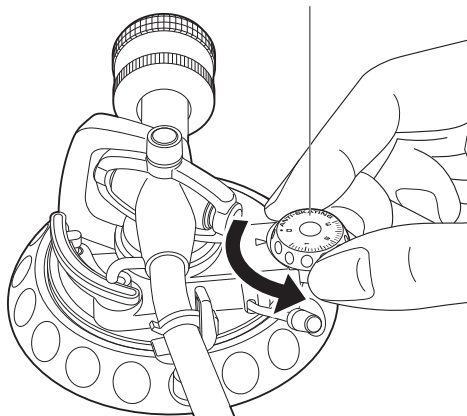
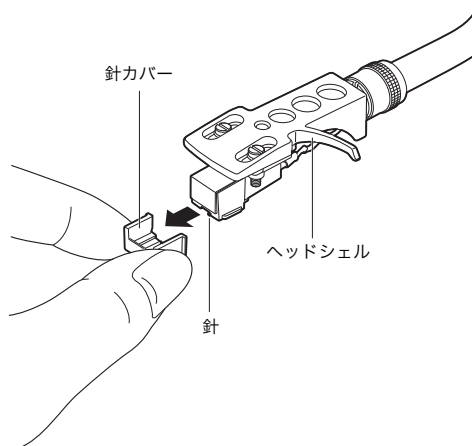
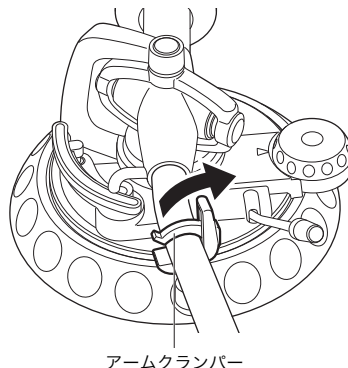
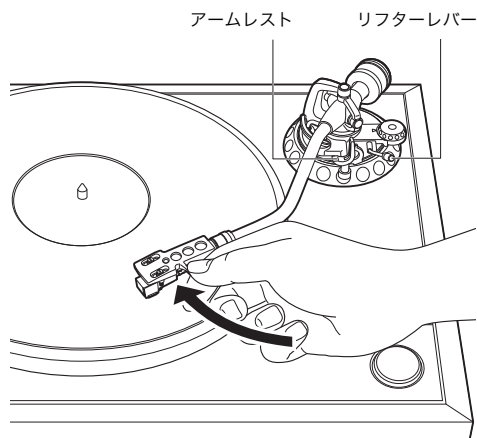
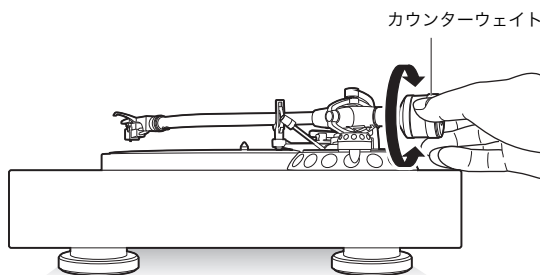
本体の水平調整をする

ご使用になる場所に設置した後、本体が水平になるようにインシュレーターを調整してください。

ご使用前の調整

針の取り扱いについて
針先は非常に繊細にできています。針カバーを外すときなどには、折れたり曲がったりしないよう十分ご注意ください。針先が傷んだ場合は、速やかに新しい針と交換してください。そのまま使用すると、レコード盤を傷つける原因となります。

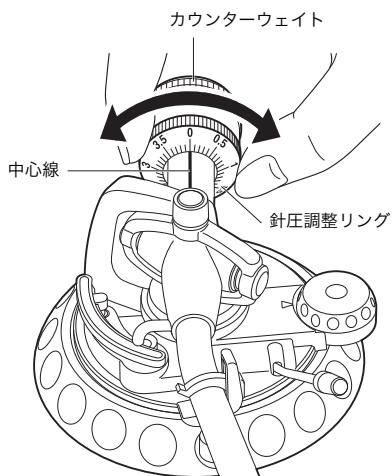
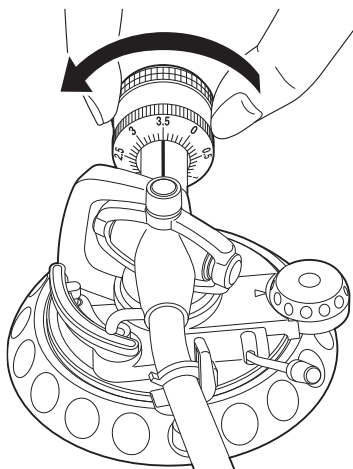
1. 水平バランスの調整

レコード盤に適正な針圧がかかるように調整するために、まずトーンアームの水平バランスを調整する必要があります。調整は電源を切った状態で行ってください。

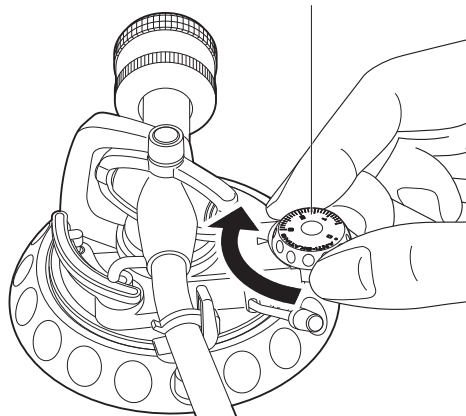
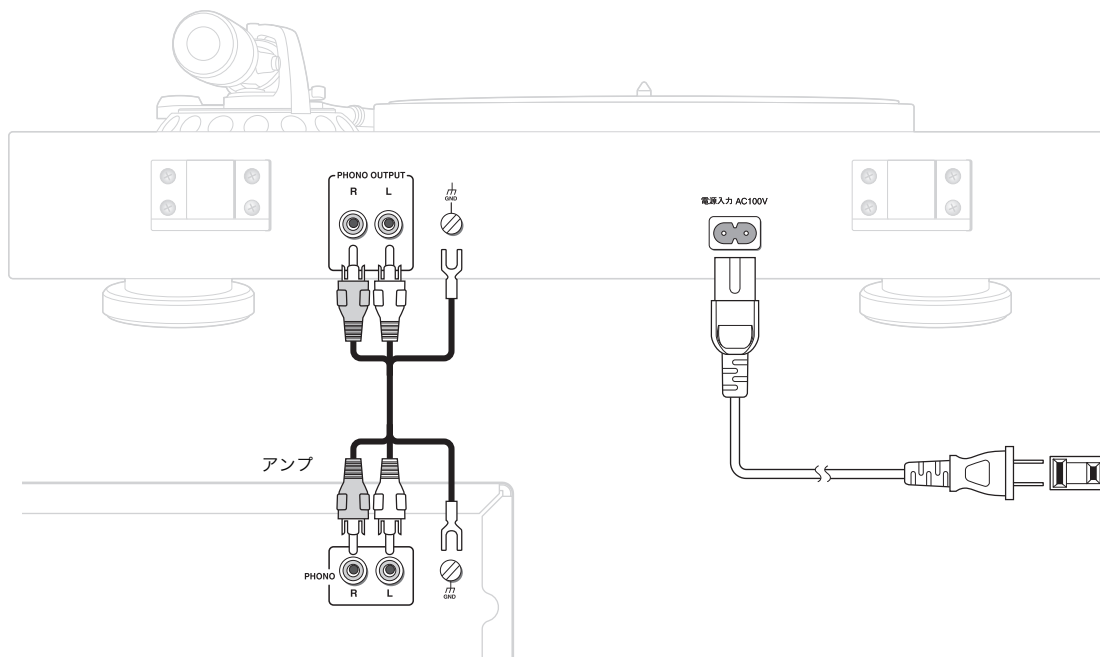
1. アンチスケーティングつまみを「0」に合わせます。

2. 針先に触れないようにして、半透明の針カバーを外します。

3. アームクランパーを外します。

4. トーンアームをアームレストから離します。
   リフターレバーは下げた状態にしておいてください。

5. カウンターウェイトを回して、手を離したときにトーンアームがほぼ水平の状態 (＊) になるように調整します。調整の際、針先がラバーマットやターンテーブルに触れないように注意してください。
   ＊ トーンアームの先端が上がりすぎたり下がりすぎたりせず、バランスがとれた状態

6. トーンアームをアームレストに戻し、アームクランパーで固定します。

2. 針圧の調整

水平バランスがとれた状態でいったん針圧の目盛を「0」にしてから、針圧値を調整します。
針圧が高すぎたり低すぎたりすると、レコードが正しく再生されないばかりか、針の寿命が短くなったり、レコード盤を傷つける原因にもなります。必ずカートリッジの適正針圧値に合わせてください。

1. 針圧調整リングを回し、目盛の「0」をトーンアーム後部軸の白い中心線に合わせます。
   - カウンターウェイトが一緒に回らないように、針圧調整リングのみに指を当てて回してください。

2. 矢印の方向にカウンターウェイトを回して、針圧調整リングの目盛の「3.5」をトーンアーム後部軸の白い中心線に合わせます。
   - カウンターウェイトを回すと針圧調整リングも一緒に回ります。
   - 付属以外のカートリッジやヘッドシェルをご使用の場合は、水平バランスを再調整した後、カートリッジに合った適正針圧値に調整してください。

3. アンチスケーティングの調整

レコード演奏時、針先が内周へ引っ張られる力が発生します。アンチスケーティングの値を針圧値と同じに設定することで、その力を打ち消します。

1. アンチスケーティングつまみを回し、針圧値と同じ目盛に合わせます。付属のカートリッジのように針圧値が「3.0」以上の場合は、「3」に合わせてください。

1. アンプとの接続

付属のアース付きピンケーブルを、本体後面パネルのPHONO OUTPUT 端子とアンプの PHONO 入力端子に接続します。赤いプラグをそれぞれの R 端子に、白いプラグを L 端子に接続してください。
また、アース付きピンケーブルのアース線を本体後面パネルとアンプの GND 端子（アース端子）に接続してください。

アンプについて
お使いのアンプに PHONO 入力端子がない場合は、本機とアンプの間に市販のフォノイコライザーを接続してお使いください。接続のしかたについては、フォノイコライザーの取扱説明書をご覧ください。

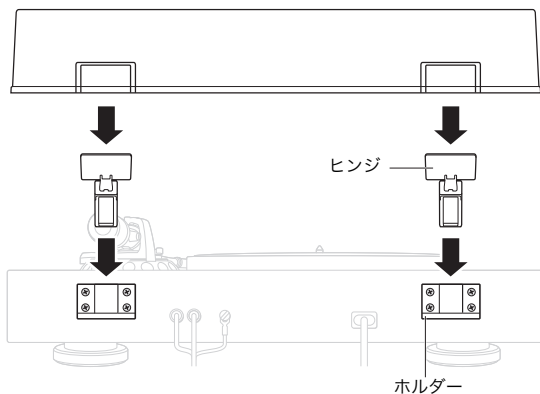
2. 電源コードの接続

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、電源コードを接続する前に、すべての接続が完了していることを確認してください。

電源コードは必ず本機の電源入力 AC100V 端子に接続した後で、家庭用電源コンセントに接続してください。

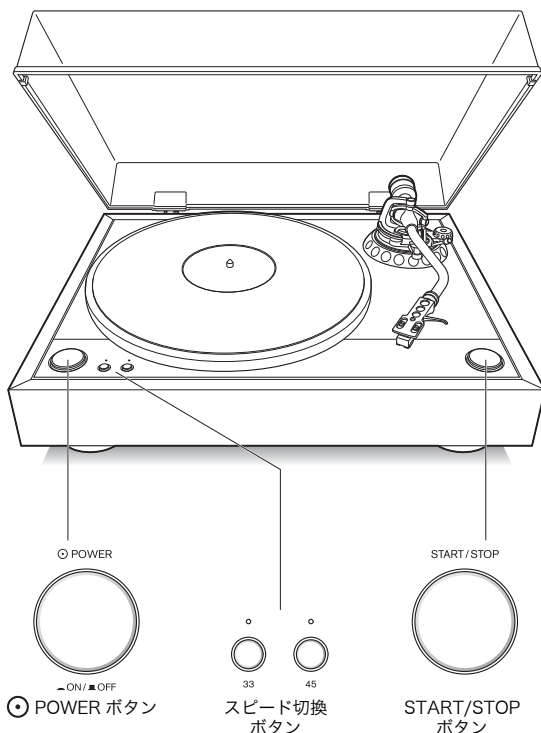
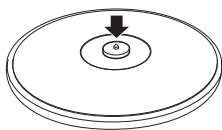
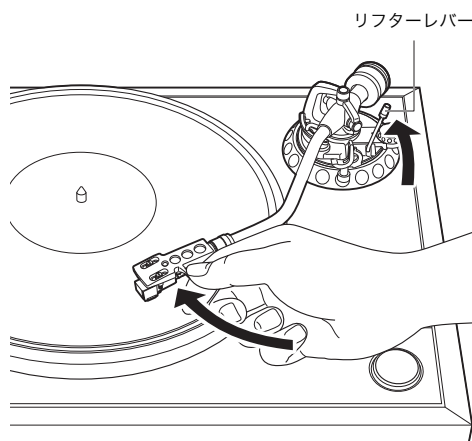
電源コードをコンセントから抜くときは、本機の電源をオフにしてから抜いてください。また、電源コードは感電を避けるため、必ず家庭用電源コンセントの方から抜いてください。

3. ダストカバーの取り付け

1. 付属のダストカバー用ヒンジ 2 個を本体後面パネルのホルダーにしっかり差し込みます。
2. ダストカバーの角穴をヒンジに合わせて、十分押し込みます。

ダストカバーを開閉するときは
ゆっくりと開け閉めしてください。演奏中にショックを与えると、針とびを起こすことがあります。

ダストカバーを取り外すときは
ダストカバーをいっぱいに開けた後、ダストカバー後部の両側面を持って、上方へ引き抜いてください。

演奏の前に
- アームクランパーを外してください。
- 接続したアンプの電源を入れ、本機の音が出るように入力を切り換えてください。アンプの音量は小さくしておいてください。

⊙ POWER ボタン　　スピード切換ボタン　　START/STOP ボタン

1. ⊙ POWER ボタンを押して、電源を入れます。
   スピード切換ボタンのインジケーターが点灯します。
2. レコードをラバーマットにのせます。
   - 穴が大きいレコードの場合は、付属の 45 回転レコード用アダプターをセンタースピンドルにはめてください。

3. スピード切換ボタンを押して、レコードに合った回転数を選択します。
   「33」：33 1/3 回転のレコード
   「45」：45 回転のレコード
   選択したスピード切換ボタンのインジケーターが点灯します。
4. START/STOP ボタンを押します。
   ターンテーブルが回転します。
5. リフターレバーを上げてヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームをレコード盤の演奏位置まで移動させます。

6. リフターレバーを下げます。
   トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤に触れて演奏が始まります。
   - レコード盤に針を下ろすときは、大きなノイズ音が出ないようにアンプの音量を小さくしておき、針先がレコード盤に触れた後で音量を調整してください。

演奏を終了するには

1. アンプの音量を小さくしてから、リフターレバーを上げます。
   - 演奏を再開するには、リフターレバーを下げます。
2. ヘッドシェルの指かけを持ち、トーンアームをアームレストまで戻した後、リフターレバーを下げます。
3. START/STOP ボタンを押します。
   ターンテーブルの回転が止まります。
   - レコードの演奏が最後に達しても、自動的には停止しません。
   - レコードを交換するときは、ターンテーブルが止まってから行ってください。
   - すぐに次の演奏を開始しないときは、アームクランパーでトーンアームを固定してください。
4. 電源を切るには、⊙ POWER ボタンを押します。
   - しばらくご使用にならない場合は、針先保護のため針カバーをつけてください。

困ったときは

はじめにお読みください
トラブルは接続や設定、操作方法を見直す以外にも、電源のオン / オフ、電源コードの抜き差しで改善することがあります。本機や接続している機器の両方でお試しください。

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度⊙ POWER ボタンを押して ▄ OFF の状態にし、5 秒以上待ってから、再度⊙ POWER ボタンを押して ▁ ON の状態にしてください。

針先がレコード盤におりない

- リフターレバーを下げてください。
- 針圧が正しく調整されているか確認してください。
- トーンアームの水平バランスがとれているか確認してください。

音が出ない
音が小さい

- アンプの入力や音量を確認してください。
- 市販のフォノイコライザーを接続している場合は、その電源が入っているか確認してください。
- アース付きピンケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- PHONO 入力端子のないアンプに接続すると、十分な音量や正しい音質が得られません。その場合は本機とアンプの間に市販のフォノイコライザーを接続してお使いください。

演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバズ音）が入る

- アース付きピンケーブルがアース線も含めて正しく接続されているか確認してください。
- アース付きピンケーブルの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがある場合は、できるだけ離してください。
- ヘッドシェルがロッキングナットでしっかり固定されているか確認してください。

針とびを起こす

- 本機が振動を受けていないか確認してください。
- 針圧およびアンチスケーティングが正しく調整されているか確認してください。
- レコード盤がそったり、傷が付いたりしていないか確認してください。
- 針先にほこりがついている場合は取り除いてください。

専用交換針（DN-105ST）の交換後、音が出ない

- 「カチッ」と音がするまで、針をきちんとはめてください。

スピード切換ボタンのインジケーターが点滅する

- 付属のターンテーブルが、センタースピンドルにきちんと差し込まれているか確認してください。
- ターンテーブルの回転が何かで妨げられていないか確認してください。
- 一度⊙ POWER ボタンを押して電源を切り、再度⊙ POWER ボタンを押して電源を入れてください。

取り扱いについて

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、部品も傷めてしまいます。結露している恐れがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。

針の取り扱い・お手入れ
針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。
針先にほこりなどが付着した場合は、針の根もとから先端に向かって柔らかい穂先のブラシなどで取り除いてください。また市販の専用クリーナーを使って掃除してください。

針の交換
針の寿命は通常約 500 時間とされていますが、ご使用状況によって大きく変わります。針先が摩耗してくると高音が荒れたり、レコード盤を傷める原因になります。そのような場合は、速やかに針を交換してください。
交換針（有料）をお求めの際は、オンキヨーオーディオコールセンターにご連絡のうえ、CP-1050 専用交換針「DN-105ST」をご指定ください。交換方法については、交換針に付属している説明書をご覧ください。

レコード盤のお手入れ
レコード盤は市販のレコードクリーナーを使ってよく拭いてください。レコード盤が汚れていると、針を傷めたり、音とびや雑音の原因となります。

転居などで持ち運ぶ場合は
購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がない場合は、次のことを必ず行ってください。
- ラバーマットとターンテーブルを取り外し、傷が付かないように包装してください。
- ヘッドシェルやカウンターウェイトはトーンアームから取り外し、傷が付かないように包装してください。
- トーンアームをアームクランパーで固定し、さらにひもなどで結んで動かないようにしてください。
- 本体は、毛布や柔らかい紙で傷が付かないように包装してください。

主な仕様

■ ターンテーブル部

駆動方式 :	ダイレクトドライブ
回転数 :	33 1/3 rpm、45 rpm
ワウ・フラッター :	0.15 %以下
S/N 比 :	60 dB 以上
ターンテーブル :	アルミダイキャスト製 直径 305 mm
モーター :	ブラシレス DC モーター
起動トルク :	1.0 kgf-cm 以上

■ トーンアーム部

形式 :	スタティックバランス S 字型トーンアーム
アーム有効長 :	230 mm
オーバーハング :	15 mm
トラッキングエラー角 :	3 度以内
針圧可変範囲 :	0 〜 4 g
適合カートリッジ質量（ヘッドシェルを含む）:	15 〜 20 g

■ カートリッジ部（OC-105）

形式 :	MM 型
負荷抵抗 :	47 kΩ
出力電圧 :	2.5 mV ±3 dB
針圧 :	3.5 g ±0.5 g
交換針 :	DN-105ST
カートリッジ質量 :	5 g
ヘッドシェル質量 :	10 g

■ 総合

電源 :	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 :	4 W
寸法 :	450(幅) × 158(高さ) × 367.5(奥行) mm
質量 :	8.6 kg

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は：保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。

■ お電話による故障判定と、修理受付け

- 意外な操作ミスが故障と思われています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。
  また弊社ホームページサポート情報にもトラブル解決の FAQ を掲載していますので、ご参照ください。

オンキヨーオーディオコールセンター
050-3161-9555

（受付時間：10:00 〜 18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

- 製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受付けております。
- スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。
  - 製品の型番
  - 接続している他機器
  - できるだけ詳しい不具合状況
  - ご購入店名
  - ご購入年月日

■ メールによる修理お申込み

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
からお申込みいただけます。

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記の URL に全国の修理拠点の案内がございます。
http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、上記相談窓口にご相談ください。

保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大 8 年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。